

2024	年度	教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月
		理科	3	大日本		140 ~ 149	6	7 ~ 7

大単元(題材名)	5. 音のふしぎ		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	D 自然愛護	

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> 音が出ているときは物が震えていることがわかる。 音の大きさが変化すると物の震え方が変わることがわかる。 音の大きさと物の震え方との関係を調べる実験を, 安全に行うことができる。 音の大きさを変えたときの物の震え方のようすの違いを, 正確に記録することができる。
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 音の大きさを変化させたときの物の震えるようすについて, 生活のなかで経験したことなどから予想を立てることができる。 音の大きさと物の震え方のようすを関係づけてとらえ, その関係を表を使ってわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 音の性質について粘り強く追究する活動を通して, 物の震え方の変化には音の大きさが関係していることを知り, まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	物が震えることで音が伝わることを理解している。	A(3)ア(ウ)
	音が大きいときは物の震え方が大きく, 音が小さいときは物の震え方が小さいことを理解している。	A(3)ア(ウ)
	物の震え方の変化を調べて正確に記録している。	A(3)ア(ウ)
	楽器や身の回りの物を正しく扱い, 音を出す実験を安全に行っている。	A(3)ア(ウ)
思・判・表	楽器や身の回りの物で音を出して, 問題を見つけている。	A(3)イ
	音の大きさと物が震えるようすとの関係について, 音楽の授業で太鼓を使ったときの経験などから予想を立てている。	A(3)イ
	音の大きさと物が震えるようすとの関係を表に整理して, わかりやすく説明している。	A(3)イ
	友だちの意見を聞いて, 自分の予想の妥当性について考えている。	A(3)イ
	音の大きさを変える実験結果から, 音の大きさを変えると物の震え方も変わることを読み出している。	A(3)イ
主体的に学習に取り組む態度	音の大きさと物が震えるようすとの関係を調べる実験計画について, 友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	音の大きさと物が震えるようすとの関係について問題を見つけ, 自分なりの予想を立てて実験している。	
	音の性質の学習で, わかったこととまだわからないこと, できるようになったこととまだできないことが何かを, 自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
音の出方	1	<ul style="list-style-type: none"> 楽器などを使って音を出し, 気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう 	量的・関係の/比較・関係付け
	2	<ul style="list-style-type: none"> 音の大きさを変えたときの物の震え方の違いを比べながら調べる。 ◆ じっけん1 	量的・関係の/比較・関係付け
音の伝わり方	1	<ul style="list-style-type: none"> 糸電話を作って, 友達と話をしたときのことについて, 気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう 音が伝わる時の物の震え方を比べながら調べる。 ◆ じっけん2 	量的・関係の/比較・関係付け
	1	<ul style="list-style-type: none"> 作ってみよう「音のおもちゃを作ってみよう!」を行う。 	量的・関係の/比較・関係付け
	1	<ul style="list-style-type: none"> ◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。 	量的・関係の/比較・関係付け

